



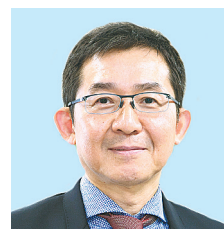
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

# AMED「革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業」

## 「見えてきた成果」5年以内に企業に引き継ぐ

### 革新的バイオ医薬品の創出に向けて

宮田 敏男 プログラムスーパーバイザー  
東北大学大学院医学系研究科教授

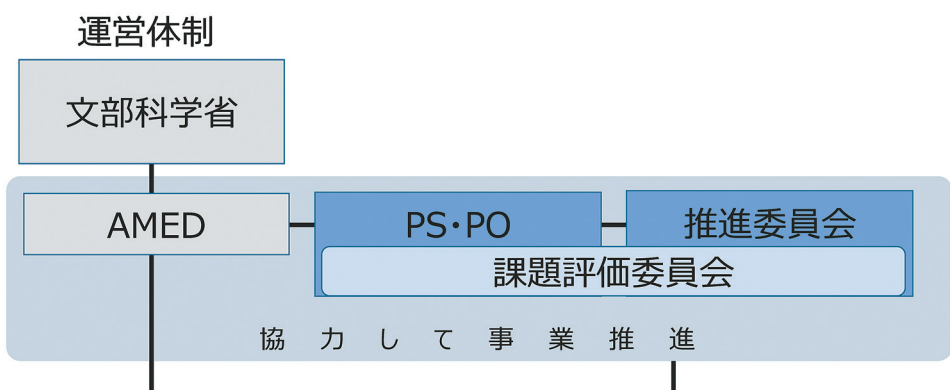


厚生労働省(ハイオンチャ)が、革新的バイオ医薬品の創出を加速する「産官学が丸」の官民対話。平成29年10月、産官学が丸の官民対話。革新的バイオ医薬品の創出を加速する「産官学が丸」の官民対話。平成29年10月、産官学が丸の官民対話。

患者数の多いガンや糖尿病以外に血友病やクローン病など、まれな疾患にも効果を示すバイオ医薬品。その高い治療効果から種類は増加中だ。平成26年度からスタートした日本医療研究開発機構(AMED)の「革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業」では、産学連携を強化して、アカデミアで見いだされた革新的なバイオ医薬品シーズの5年以内の企業技術導入を目指している。今年最終年を迎える同事業では、欧米先行のバイオ医薬品市場に切り込むことができる成果も始めている。本紙では、オールジャパンを進める同事業のこれまでの歩みと具体的な成果を2回にわたって紹介する(2回目は3月23日号に掲載予定)。

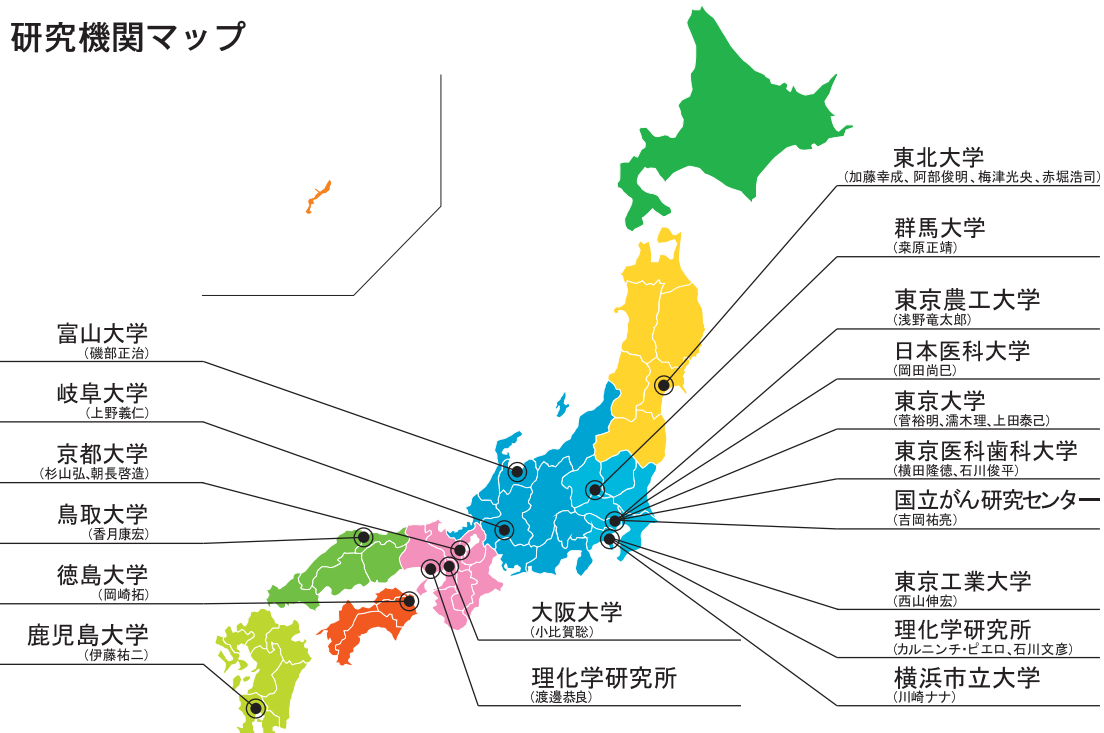
### 課題解決へ「産官学が丸」

厚生労働省「産官学が丸」の官民対話。平成29年10月、産官学が丸の官民対話。革新的バイオ医薬品の創出を加速する「産官学が丸」の官民対話。平成29年10月、産官学が丸の官民対話。



本事業は、文部科学省との連携の下、AMEDによって推進されています。本事業では、1名のプログラムスーパーバイザー(PS)と2名のプログラムオフィサー(PO)が配置されており、事業全体の進捗状況を把握し、事業の円滑な推進に当たり必要となる指導・助言等を行っています。推進委員会は、医薬品の研究開発に精通した有識者からなる機関であり、事業推進、導入活動、成果の公開・利用方針の検討や課題の進捗管理に当たり、PS及びPOに意見を述べるとともに補佐をしています。また、PS、PO及び推進委員をメンバーとする課題評価委員会が設置されており、事前評価、中間評価、事後評価等を実施していきます。

### 研究機関マップ



### 堀内正 プログラムオフィサー



慶應義塾大学医学部特別招聘教授  
本事業は、世界初の次世代バイオ医薬品(ペプチド、核酸、抗体等)の創出を促進する革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業の一環として実施されています。ペプチド、核酸、抗体等の次世代バイオ医薬品の創出を促進する革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業の一環として実施されています。

### 「欧米を凌駕したい」目標に向け進捗管理

この事業は、世界初の次世代バイオ医薬品(ペプチド、核酸、抗体等)の創出を促進する革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業の一環として実施されています。ペプチド、核酸、抗体等の次世代バイオ医薬品の創出を促進する革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業の一環として実施されています。

### 大滝義博 プログラムオフィサー



株式会社バイオフィロンティア パートナース 代表取締役  
近年のバイオテクノロジーの発展は、革新的バイオ医薬品の創出を加速する「産官学が丸」の官民対話。平成29年10月、産官学が丸の官民対話。

### アカデミア発の技術 9件の企業導入認定

革新的バイオ医薬品の創出を加速する「産官学が丸」の官民対話。平成29年10月、産官学が丸の官民対話。革新的バイオ医薬品の創出を加速する「産官学が丸」の官民対話。平成29年10月、産官学が丸の官民対話。

### 最終年度迎える成果は社会へ向かう



永井 雅規

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課課長

平成26年度開始した革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業は、平成30年度がその最終年度となります。本事業の目的は、バイオ医薬品の分野において我が国の国際競争力を強化するため、アカデミアを中心として、製薬企業が有する技術的課題の解決と次世代の革新的な技術の開発を行うことにある。

### 世界初の技術創出へ「さらに前進」



河野 典厚

国立研究開発法人日本医療研究開発機構創薬戦略部部長

AMEDは、医療分野の研究開発およびその環境整備の実施と助成業務を推進する組織です。AMEDでは、昨今の創薬環境の変化に際し、創薬事業を所管する部署を改編して、2017年7月に創薬戦略部を新たに設置しました。今後、革新的な医薬品および希少疾病治療薬の研究開発により一層取り組んでまいります。

**革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業 PS・PO・推進委員**

**■プログラムスーパーバイザー(PS)**  
宮田 敏男 国立大学法人東北大学大学院医学系研究科 教授

**■プログラムオフィサー(PO)**  
堀内 正 慶應義塾大学医学部 特別招聘教授  
大滝 義博 株式会社バイオフィロンティア パートナース 代表取締役社長

**■推進委員**  
岡崎 寛 協和発酵キリン株式会社 執行役員 研究開発本部副本部長 兼 トランスレーションリサーチユニット長  
落谷 孝広 国立研究開発法人国立がん研究センター研究部 治療開発グループ 分子細胞治療研究分野 主任分野長  
川口 勉 株式会社カイオム バイオサイエンス 顧問  
小梅川純一 株式会社バイオフィロンティア パートナース 技術顧問  
後藤 俊男 国立研究開発法人理化学研究所 産業連携本部 創薬・医療技術基盤プログラム プログラムディレクター  
津本 浩平 国立大学法人東京大学大学院工学系研究科 教授  
南学 正臣 国立大学法人東京大学大学院医学系研究科 教授  
藤本 陽子 ファイザー株式会社 エスタブリッシュ 医薬品事業部門 メディカルアフェアーズ統括部 統括部長  
宮田 満 株式会社宮田総研 代表取締役社長